

確率変数  $X$  の平均・分散

$$\text{平均: } E(X) = \sum_{k=1}^n x_k p_k$$

$$\text{分散: } V(X) = \sum_{k=1}^n \{x_k - E(X)\}^2 p_k$$

確率変数  $X$  が、 $a, b$  を定数として、

$$Y = aX + b \quad \rightarrow \quad y_k = ax_k + b$$

と一次変換されたとき、 $Y$  の平均は次のようになる。

$$E(Y) = aE(X) + b$$

分散  $V(Y)$  と標準偏差  $\sigma(Y)$  はどのようになるだろうか？

$$\begin{aligned} V(Y) &= \sum_{k=1}^n \{y_k - E(Y)\}^2 p_k \\ &= \sum_{k=1}^n \{(ax_k + b) - (aE(X) + b)\}^2 p_k \\ &= \sum_{k=1}^n \{ax_k - aE(X)\}^2 p_k \\ &= a^2 \sum_{k=1}^n (x_k - E(X))^2 p_k \\ &= a^2 V(X) \end{aligned}$$

## 一次変換と平均・分散・標準偏差

$Y = aX + b$  と一次変換すると、

$$E(Y) = aE(X) + b$$

$$V(Y) = a^2 V(X)$$

$$\sigma(Y) = |a|\sigma(X)$$

**例 1** 1 個のサイコロの出る目の数  $X$  の平均と分散は、

$$E(X) = \frac{7}{2}, \quad V(X) = \frac{35}{12}$$

この確率変数  $X$  を  $Y = 6X + 2$  と変換したとき、 $E(Y), V(Y), \sigma(Y)$  の値を求めよ。

$$\boxed{\text{答}} \quad E(Y) = \quad V(Y) = \quad \sigma(Y) =$$

## 問 1

3 枚の硬貨を投げたとき、表の出る枚数  $X$  の平均と分散は、

$$E(X) = \frac{3}{2}, \quad V(X) = \frac{3}{4}$$

この確率変数  $X$  を  $Y = -10X + 3$  と変換したとき、 $E(Y), V(Y), \sigma(Y)$  の値を求めよ。

$$\boxed{\text{答}} \quad E(Y) = \quad V(Y) = \quad \sigma(Y) =$$

## 例 2

確率変数  $X$  の平均は  $m$ 、標準偏差は  $s$  である。  
 $Z = \frac{X - m}{s}$  と変換したとき、 $Z$  の平均と標準偏差を求めよ。

$$\boxed{\text{答}} \quad E(Z) = \quad \sigma(Z) =$$

## 問 2

確率変数  $X$  の平均は  $m$ 、標準偏差は  $s$  である。  
 $Z = 50 + \frac{10(X - m)}{s}$  と変換したとき、 $Z$  の平均と標準偏差を求めよ。

$$\boxed{\text{答}} \quad E(Z) = \quad \sigma(Z) =$$

**例 1** 1 個のサイコロの出る目の数  $X$  の平均と分散は、

$$E(X) = \frac{7}{2}, \quad V(X) = \frac{35}{12}$$

この確率変数  $X$  を  $Y = 6X + 2$  と変換したとき、  
 $E(Y)$ ,  $V(Y)$ ,  $\sigma(Y)$  の値を求めよ。

$$\begin{aligned} E(Y) &= 6E(X) + 2 & V(Y) &= 6^2V(X) \\ &= 6 \cdot \frac{7}{2} + 2 & &= 36 \cdot \frac{35}{12} \\ &= 23 & &= 105 \\ \sigma(Y) &= \sqrt{105} \end{aligned}$$

$$\text{答} \quad E(Y) = 23, \quad V(Y) = 105, \quad \sigma(Y) = \sqrt{105}$$

**問 1** 3 枚の硬貨を投げたとき、表の出る枚数  $X$  の平均と分散は、

$$E(X) = \frac{3}{2}, \quad V(X) = \frac{3}{4}$$

この確率変数  $X$  を  $Y = -10X + 3$  と変換したとき、 $E(Y)$ 、 $V(Y)$ 、 $\sigma(Y)$  の値を求めよ。

$$\begin{aligned} E(Y) &= -10E(X) + 3 & V(Y) &= (-10)^2V(X) \\ &= -10 \cdot \frac{3}{2} + 3 & &= 100 \cdot \frac{3}{4} \\ &= -12 & &= 75 \\ \sigma(Y) &= \sqrt{75} = 5\sqrt{3} \end{aligned}$$

$$\text{答} \quad E(Y) = -12, \quad V(Y) = 75, \quad \sigma(Y) = 5\sqrt{3}$$

**例 2** 確率変数  $X$  の平均は  $m$ 、標準偏差は  $s$  である。  
 $Z = \frac{X - m}{s}$  と変換したとき、 $Z$  の平均と標準偏差を求めよ。

題意より、 $E(X) = m$ ,  $\sigma(X) = s$  である。

変換式を  $Z = \frac{1}{s}X - \frac{m}{s}$  と見る。

$$\begin{aligned} E(Z) &= \frac{1}{s}E(X) - \frac{m}{s} & \sigma(Z) &= \left| \frac{1}{s} \right| \sigma(X) \\ &= \frac{m}{s} - \frac{m}{s} & &= \left| \frac{1}{s} \right| s \\ &= 0 & &= 1 \end{aligned}$$

$$\boxed{\text{答}} \quad E(Z) = 0, \quad \sigma(Z) = 1$$

**問 2** 確率変数  $X$  の平均は  $m$ 、標準偏差は  $s$  である。  
 $Z = 50 + \frac{10(X - m)}{s}$  と変換したとき、 $Z$  の平均と標準偏差を求めよ。

題意より、 $E(X) = m$ ,  $\sigma(X) = s$  である。

変換式を  $Z = \frac{10}{s}X + \left(50 - \frac{10m}{s}\right)$  と見る。

$$\begin{aligned}
 E(Z) &= \frac{10}{s}E(X) + 50 - \frac{10m}{s} & \sigma(Z) &= \left| \frac{10}{s} \right| \sigma(X) \\
 &= \frac{10m}{s} + 50 - \frac{10m}{s} & &= \left| \frac{10}{s} \right| s \\
 &= 50 & &= 10
 \end{aligned}$$

$$\boxed{\text{答}} \quad E(Z) = 50, \quad \sigma(Z) = 10$$